

辺野古転覆事故…「左翼の大罪」を問う 月刊「正論」7月号、本日発売

日本の針路を問う論壇誌、月刊「正論」7月号(産経新聞社発行)を6月1日に発売しました。今号では、小川榮太郎氏が「共産党の謝罪と石破茂という地雷」と題し、形を変えてうごめき続ける左翼思想の本質を鋭く分析しています。また、門田隆将氏と結城豊弘氏による「辺野古転覆、左翼の大罪」では、辺野古の転覆事故が炙り出した反基地運動の闇を徹底検証。さらに、弁護士岡島実氏による『「平和教」の時代の終焉』や、石原伸晃氏による「辺野古で責任逃れ 社民党は終わった…」など、過激化する運動の罪を徹底追及しています。江崎道朗氏、岩田温氏ら豪華連載陣によるコラムも加わり、今月も熱い議論を展開する一冊です。

小川榮太郎 共産党の謝罪と石破茂という地雷 左翼は死なず…

門田隆将×結城豊弘 辺野古転覆、左翼の大罪

弁護士・岡島実 「平和教」の時代の終焉

転覆事故は何をもたらしたか

石原伸晃 辺野古で責任逃れ 社民党は終わった…

飯山陽 カワイイ過激派女子を甘やかすな

東京大学2年・山田泰 神谷宗幣講演会 `中止、顛末記

原英史 「道州制」再考は必須の検討課題だ

竹田恒泰 まだある皇室典範改正の論点

宮家邦彦×大場一央 中東という幻想、中国という帝国

ツェワン・ギャルポ・アリヤ 中華民族 `団結新法、の正体

ヤン・エキレック 中国の臓器収奪システム

モラロジー道徳教育財団理事長・廣池幹堂×櫻井よしこ

日本再生への「道徳」と「国防」聞き手 有元隆志

自民党衆議院議員・鈴木英敬×平井文夫

憲法改正したいから 自民党にこだわった

谷口智彦 観望台Observatory 消された戦前戦中の昭和

八木秀次 フロント・アベニュー 皇室典範改正という歴史的事業

島田洋一 アメリカの深層 米「専門家」らの対北交渉論



【公式HP】

編集人・菅原慎太郎／発行人・中村将／印刷所・大日本印刷株式会社／発行所・産経新聞社

【月刊正論公式HP】 <https://www.sankei.com/monthly-seiron/magazine/>

定価950円(本体864円+税)。書店などで購入できます。定期購読(税込み10,080円、年間・送料無料)は、富士山マガジンサービス(フリーダイヤル:0120-223-223)まで。